

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	家電量販店（従業員）	・このまま、年末商戦になだれ込む。12月には民放の地上デジタル放送が開始され、薄型テレビの販売も好調に推移する。
		観光型ホテル（総支配人）	・宿泊予約状況から、前年を上回ると予測される。ただし、12月は若干弱含みである。
		ゴルフ場（経営者）	・2か月くらい前から営業努力をしているので、改善する見込みがある。
	変わらない	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・今までの経験からすると、修学旅行生の売上は見込めず、旅行代理店の情報でも、体験型観光の需要が増加しているので物販は期待できなくなってきたとのことだったが、10月から判断する限りでは今年度は傾向が違うので、今後も売上向上は期待できる。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・観光客の増加の恩恵を受けることが無い商店街では、これ以上は景気は良くならない。
		百貨店（担当者）	・11～12月は暖冬であると予測されている。昨年度は11月末からの全国的な冷え込みにより、防寒衣料を中心に好調に推移した。このことから、気温の変化が景気予測に大きな影響を及ぼすと判断できる。特に天候と件以外はマイナス要因が見当たらないことから、食品、住居が堅調に推移すれば11～12月は前年並みに推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・新規出店は各社とも増え、マーケットはやや厳しくなるものの、既存商品の改善や新規商品の投入、販売推進力の強化により現状の好調は維持する。
		コンビニ（エリア担当）	・客を呼び戻すセール等を行っても単発に終わり効果が薄い。安い商品であっても、余分に購入しない傾向がある。
		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物の動きがあまり良くない。その分、靴、バッグ等の商品がよく動いている。これからの季節物の服の動きに期待する。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光は好調だがリピーターの増加により、売上には反映されていない。地元客は減少している。年末商戦前に対策を立てる必要がある。
	観光名所（職員）	・沖縄への入域観光客は8月から順調に推移している。これから先も、特に変化要因は見当たらず、沖縄観光客は順調に推移する。	
	やや悪くなる	スーパー（経営者）	・今月は競合店の大型店の出店がある。チラシ販促の内容にもよるが、今後年末にかけて、かなり競争が激化する。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・宣伝を強化している割に、忘年会等の予約状況が伸びていない。セット金額も安い方に集中している。
		観光型ホテル（商品企画担当）	・一部施設での改修工事に伴い、稼動、収入とも減少する見込みである。
企業 動向 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	コピー業（代表者）	・当社では、広告媒体関係を熟知している営業担当者を先月から雇用している。3か月後には、テレビ媒体やCG制作に付随する印刷が、横ばいの状況を好転させる。
	やや良くなる	建設業（経営者）	・引き合い件数が増加している。
		輸送業（営業・運営担当）	・各給油所で燃料費の値下げが行われている。現時点では仕入価格の調整はできていないが、今後仕入価格の調整に着手できる環境ができれば、利益の回復につながる。
		広告代理店（営業担当）	・環境問題への取組、飲酒運転撲滅に対する社会の関心の高まり、個人情報漏えいに対する企業のセキュリティ意識の向上などは、企業の積極性に幾らか歯止めを掛けている感はあるものの、昨今マスコミで話題となっている携帯電話の番号ポータビリティ制度導入に伴うキャリア間競争は、企業の競争意欲に多少なりともプラスの刺激を与えている。さらに、11月の県知事選の行方に対する期待感もある。
	会計事務所（所長）	・リゾートウェディング事業は業界全体としては上向きであるため、今後も安定的な成長が見込める。	
変わらない	通信業（営業担当）	・消費者向け光インターネットサービスは、新キャンペーン効果で受注増が見込まれるが、法人向けサービスは現状維持、あるいは廉価なサービスへの移行があるので、全体としては変わらない。	
やや悪くなる			
悪くなる			

雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・派遣依頼は多いものの、スタッフ不足により契約まで至らず数字が横ばいでもある。また、ユーザーの状況をみると建設関係会社等の厳しいところも出てきている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・求職者の動向が変わるような要素や気配が感じられない。
		職業安定所（職員）	・9月において、紹介件数は7,040人で3か月前比18.7%の増加、前年同月比で5.6%の減少である。就職件数は1,559人で3か月前比14.4%、前年同月比で15.7%の増加である。なお、製造業が前月比で95.4%、特に食料品製造で166.7%増加している。ただし、パートが57%である。輸送用機械器具製造が98%増であるが、これは県外自動車産業への派遣で、非正規社員である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・建設業関連の求人企業開拓で感じられる点としては、公共工事の減少だけでなく、受注単価の厳しさ、さらには原油高騰による資材価格の上昇がある。一層厳しい状況であり、先行きが全くみえない。
	学校〔大学〕（就職担当）	・金利上昇、あるいは経費の増大などの経営を圧迫する要因が次第にボディーブローのように効き始めている。結果的に経営者の警戒心は強くなり始めており、新卒の採用にも多少影響してくるおそれがある。	
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	